

## ～特別会計補正予算～

|  |                     |
|--|---------------------|
| <b>国民健康保険特別会計（事業勘定）</b>  | <b>1148万3千円 追加</b>  |
| ・保険税及び繰入金の減額を見込む一方、前期高齢者交付金及び繰越金の増額を見込み、保険給付費及び返還金等を措置             |                     |
| <b>国民健康保険特別会計（直診勘定）</b>  | <b>予算額の増減はありません</b> |
| ・職員の配置換え等に伴う人件費及び医療用機械器具修繕費を措置                                     |                     |
| <b>簡易水道特別会計</b>  | <b>予算額の増減はありません</b> |
| ・一般会計繰入金及び繰越金を見込み、人件費及び横川大原地区の配水管整備設計委託料、遠方監視装置更新工事費を措置            |                     |
| <b>町営バス特別会計</b>  | <b>802万9千円 減額</b>   |
| ・繰越金の増額と一般会計繰入金の減額を見込むと共に、町営バス購入関連経費等の増減額を措置するほか、地方債の一部を変更         |                     |
| <b>公共下水道特別会計</b>   | <b>2万4千円 追加</b>     |
| ・繰越金の増額を見込み、職員給与改定等に伴う人件費の増減額を措置                                   |                     |
| <b>介護保険特別会計</b>  | <b>22万円 追加</b>      |
| ・支払基金交付金及び繰越金の増額を見込む一方、介護保険財政調整基金繰入金の減額を見込み、前年度交付額確定に伴う国県支出金返還金を措置 |                     |
| <b>介護サービス特別会計</b>  | <b>104万円 追加</b>     |
| ・繰越金の増額を見込み、高齢者生活福祉センター工事費の不足額を措置                                  |                     |
| <b>後期高齢者医療特別会計</b>   | <b>429万4千円 減額</b>   |
| ・後期高齢者医療保険料の減額及び前年度繰越金の増額を見込み、後期高齢者医療広域連合納付金の減額を措置                 |                     |
| <b>七ヶ宿ダム自然休養公園特別会計</b>   | <b>270万円 追加</b>     |
| ・七ヶ宿ダム自然休養公園基金繰入金及び繰越金の増額を見込むと共に、かわまちづくり計画策定経費を措置                  |                     |

横川大原地区配水管詳細設計業務委託  
1285万2千円

**問** 武蔵重幸議員

農地内の配管を道路側に移すなどの考えはあるのか。

**答** 農林建設課長

現在大原は配管を長老から牧場を通して持ってきている。この牧場内の配管が大分傷んでいるので、横川から大原への配管に変更しようとする設計である。

**問** 菅原研治議員

横川から大原まで水を引いても生活基盤、ライフラインに支障が出ないほどの水量はあるのか。

**答** 農林建設課長

大原の給水量を合わせても今の浄水施設の計算上問題はない。

かわまちづくり計画策定業務委託料

270万円

**問** 梅津政志議員

かわまちづくり計画の内容は。

**答** ふるさと振興課長

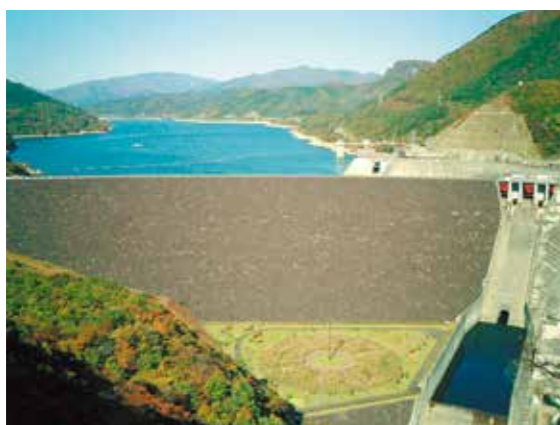
国土交通省の事業で、国の直轄河川で地元と国が連携しながらよりよい有効な町と水辺が融合した空間の形成を推進する事業。具体的にはダム公園までのエリアと白石市側にある材木岩公園の間に遊歩道や水辺エリアの散策ができる空間づくり、あるいはダム公園内の整備等やソフト事業を今後どのように展開していくかに加え、旧道の駅「ありや」周辺のエリアも視野に入れながら、かわまちづくり支援制度というものの計画を策定する業務。白石市と連携しながらダム管理所を中心に取り組んでいく。

**問** 菅原研治議員

七ヶ宿の委託料は270万円となっているが、白石市でも市の財政規模やエリア規模に応じた委託料を負担しているのか。

**答** ふるさと振興課長

事業自体は連携して国に要望し予算化を図ってもらうが、それぞれの計画の策定に当たってはそれぞれで対応していく。町側としては外部の調査や整備、ソフト事業の提案も含め委託をして、それをつくり上げるという判断をした。白石市は既に27年度予算で独自に動いているところもあると聞いていますので、それぞれの成果を持ち寄りながら調整を図っていく。



**問** 吉野一夫議員

2カ年で委託して計画が出ていろいろな施設が着工になった場合、補助率は国交省から100%であるのか。

**答** ふるさと振興課長

ハード的な部分や若干のソフト的な支援も可能とは思いますが、基本は国の事業として取り組んでもらう。